

化審法の施行状況を踏まえた検討課題（案）

1. 検討課題

- (1) 少量新規制度、低生産量新規制度における安全性の確保と我が国化学産業のイノベーションの環境整備の両立を前提とした、制度全体の整合性を担保するための対応新規化学物質審査の特例である少量新規化学物質確認制度・低生産量新規化学物質確認制度については、人の健康や生態系に対する安全性の確保を前提に、事業者の予見可能性を向上させるために、確認の基準となっている全国総量を見直してはどうか。その場合、こういった見直しが考えられるか。
- (2) 有害性が非常に強い新規化学物質の管理
新規化学物質の審査においては、有害性が非常に強い物質が見受けられているところ、そうした物質については特に取扱いに注意するよう、製造・輸入・使用事業者それぞれに対し注意喚起を行う仕組みを導入してはどうか。その場合、こういった仕組みが考えられるか。